京城日報

六日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五十五錢
廣告料 五號活字一行金七拾錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◎山縣公加藤子會見顛末
同志會最高幹部會にて報告

加藤同志會總理は山縣公より會見を求められ五日午前九時山縣公を椿山莊に訪問したることは既報の如くなるが當日山縣公は加藤子に對し昨年十二月大隈侯が始めて辭職を漏したる當時より今日に至迄の顛末を詳細に說明して加藤子を奏薦するに至らざりし理由として此の際政黨に關係ある人物を推薦するは不可なりと認めたるを以て他の人物を推薦したる結果寺內伯を推薦したる次第なりと述べたるに加藤子は豫て大隈侯より聞き及べる所と多少合致せざる點あるも今は之を云ふ必要は認めず因て何處迄も御意見の處は之を同志に傳達すべしと述べ十二時辭去後直に自邸に最高幹部を會す、箕浦、武富の前大臣、仙石貢、島田三郎氏、若槻、安達、肥塚の諸氏出席加藤總理より山縣公との會見顛末を報告し一同協議の上黨としては此の際特に輕擧妄動を戒め極て愼重なる態度を持すべき旨を申合せ且つ新黨組織の件に就ても種々の打合をなし夕刻散會（東京特電）

◎內閣組織著々進捗

內閣組織準備は著々進捗しつゝあるが未だ閣員全部の顏觸を決定するに至らざるも五日以來當局の間に傳へらるゝ處に由れば陸海軍大臣の留任は別として平田子、後藤男、田男、仲小路氏等の入閣は疑なかるべしと（東京特電）

◎東清南半讓與實行

東清鐵道長春、松花江間讓與は既に日露兩國間調印を了したるを以て二三日中に實行を見る可し（東京特電）

◎獨逸國內食料の窮乏

信賴すべき筋よりの報道に依れば獨逸の經濟狀態は八月中益々不良となりたり獨逸の事情を知悉せる中立國よりの報道に依れば獨逸にては著しく食料缺乏し且つ食物の素質が頗る不良となり大都會にては食料一揆又は同盟罷業等頻々として起りつゝあり本年度の收穫は平作以下なりと信ぜらるゝされば來年春期の食料危機は益甚しかるべしと（紐育電報）

◎希臘內閣の總辭職

羅典電に依れば希臘內閣は總辭職せり（紐育電報）

◎羅軍勃領突入の價値

巴里來電＝ゼツアン將軍の指揮せる羅馬尼軍は砲兵隊の首腦砲火の援護の下にブカレスト南方三十哩の地點よりダニユーブ河を渡り勃牙利領土に突入し勃軍を或は全滅せしめ或ひは敗走せしめたり此運動は戰略上頗る重要のものにして之が軍略上の結果は頗る大なるものある可し此作戰は豫め聯合軍と協議の結果行はれたるものにして聯合軍の飛行隊はサライユ軍及びゼツアン軍の聯絡を開けるなり（紐育電報）

◎戰爭繼續の覺悟
ロバートソン將軍の演說

サー、ウヰリアム、ロバートソン將軍はリンカーン町に於て演說して曰く、我軍は今や相當の砲數と彈藥とを有するに至れるを以て大體に於て何等の憂慮を抱かずして將來を豫想し得可し然れども吾人は目下の所豫測する能はざる時機迄戰を繼續するの覺悟無かる可からず吾人は目下一層兵員を要す可きが結局は能ふ限りの人員全部を募集せざる可からず全部の英國の男女極力勞せずして勝利を得んとするは其當を得ずと（紐育電報）

◎政變と三線問題

三線連絡問題は後繼內閣に於て引繼ぎ協議會を續行の上一箇年間現狀維持に決せらるべしと觀測さる（東京電報）

◎總監等龍山行

山縣政務總監は遠藤秘書官を隨へ六日正午より龍山に赴き立花第十九師團長官邸に於る川村元帥招待午餐會に列席二時半歸廳又松永道長官、古海警務總長も正午同團長官邸の午餐會に列席し午後歸廳せり

◎川村元帥巡察

滯京中の川村元帥は高橋總督附武官の東道にて猪鹿倉副官を隨へ六日午前八時三十分鐵道ホテル發午前中左の順序にて巡視したり

午前八時四十分より十時まで龍山軍司令部、總督官邸、軍官舍、師團司令部、十時より十一時まで步兵第七十八聯隊營同聯隊及び將校合宿舍巡觀、十一時より砲兵中隊營巡視、十一時四十分より陸軍倉庫營巡視

午後零時三十分より立花師團長官邸に於て午餐の饗應を受け二時官邸發二時十五分工業專門學校訪問三時三十分總督府醫院三時五十五分商品陳列館著四時四十分朝鮮ホテルに歸著したり

◎元帥元山視察

子爵川村元帥は七日午前八時三十分旅館發昌德宮及び總督府に退去の挨拶をなし同九時三十分南大門發列車にて京元線並に元山を視察し八日午後五時十分再び入京朝鮮ホテルに入るべしと

◎師團長張宴

立花第十九師團長は五日午後零時三十分より龍山の官邸に川村元帥を招待午餐會を開きしが陪賓として山縣政務總監、松永道長官、古海警務總長、白水參謀長、岡本高橋各大佐、遠藤秘書官等も亦列席せり

◎定例長官會議

六日は定例長官會議日なるを以て午前十時より總督府會議室に長官會議を開き各部局長官及び同代理者參集政務を議し正午散會したるが例により古海警務總長持地小松鈴木谷局長秋山參事官も列席せり

◎辭令

總督府醫院醫官 醫學博士 室谷脩太郎
陞敍高等官三等
司法官試補 玉名友彥
同 大塚廿六
朝鮮總督府判事（高等官七等）

◎國境貿易視察

總督府度支部關稅課長水口隆三氏は來る八日出發國境貿易視察の爲め西鮮方面へ出張鴨綠江を溯り玉江鎭迄の區域を巡察する由なるが歸路は鎭南浦の久原精錬所の事業並に兼二浦に於ける三菱製鐵所計畫等を詳細視察し來るべしと

◎蒙古種馬購入
野口技師の鄭家屯行き

總督府にては京元線洗浦の種馬場に收容すべき蒙古種馬牝種二十頭を購入の爲め野口農商工部技師を五日奉天省吉林省に向け往復約一箇月の豫定にて出張せしめしが技師は主として鄭家屯に於て公用を辨ずべしと

◎支那國祭日

十月十日は支那共和國の國祭日なるも在京城支那總領事館にては都合に依り祝賀を受けず

◎獻穀齋田修祓式 京畿道

富川郡に於ける小松源作氏の獻穀齋田は既報の如く此程刈取を終りたるを以て來る十二日午前十時より耕地に於て修祓式を行ひ總督府及道の當局者數名列席する由

◎鮮銀出張員發期

朝鮮銀行外國出張員として愛に選任せられたる佐藤得四郎、堤嘉三、高橋武夫氏等は本月十日までに東京に參集を命ぜられたれば堤、高橋氏等は八日午前八時半佐藤氏は同日夜七時五十分南大門驛出發東上の豫定也と

◎大原秘書役歸任

東上中なりし大原朝鮮銀行秘書役は五日午後九時南大門著列車にて歸任せり

◎新田所長歸任

事務打合せの爲め入京中なりし新田清津建設事務所長は五日朝龍山發列車にて歸任

◎今津技師出張

中央試驗所技師今津明氏は七日より京畿道に出張すべし

◎水原模範場見學

京畿道の農事獎勵會は八日（雨天ならば十五日）午前八時南大門に集合し水原模範場の農事見學を爲す筈にて趙重應、趙鎭泰の諸氏を始め二十餘名列席す可く道よりは車田事務官同行すべしと

◎生果禁輸影響

四日より當分の間既報の如く朝鮮生果の滿洲輸出並に滿洲通過を絕對的に禁止されしが其の影響に付き總務局當局の談を聞くに大體に於て本年朝鮮產生果は豐作と云ひ得べし然るに目下各地に虎疫頻出し一般の果物需要は例年に比し激減し價格亦低落せる今日突如其の北方の重要なる出口を塞がれたる事とて目下相場の弱勢なるは之れ免れ難かるべし唯さか慰さむべきは今日以後採取する朝鮮生果中重要なる林檎類は紅玉國光倭錦等にて何れも貯藏用果物に屬する爲め多少の資本あり之が貯藏に堪へ得るならば何れも虎疫終熄迄持ちこらへて放賣するに至るべく果樹栽培業者の收得は必ずしも減せざるべし然れども小極樹栽培者にて資金乏しきものは之を得ざる向は今回の滿洲禁輸により相當の損害を免れざるべしと

◎手形交換激增

九月中に於ける京城手形交換所の交換高は枚數三萬三千五百五十四枚金額六百九十五萬二千八百三十六圓九十一錢にして前月に比し四千枚百二十萬圓を增加し更に之れを前年同月に比すれば金額二百二十萬圓の激增を示し居れりと

◎脫脂綿引受の其後

朝鮮製綿會社の重役たりし關澤太郎氏其他の重役が露國より引受けたる脫脂綿に就ては曩に株主總會にて紛擾を惹起したる結果途に重役個人の手に引受くることゝなりたるものなるが其脫脂綿の納入契約は九月限りなりしも製造を委託したる大阪の東洋製綿會社の製造能力の關係上多少遲延を來し未だ全部の納入を終らざる次第なり而して第一回注文に引續き第二回分の注文も或は契約さる可く豫想され居たるが種々の關係上實地に打合を爲すの必要ありと梶原末太郎氏は一同を代表して此程東上したりと

◎米人雜誌發行計畫

在京城米人の間に朝鮮の學術文藝的研究を汎く世界に紹介する爲め「ソール、マガジーン」發刊の計畫ありと

群山

▲視察團來群● 兵庫縣農會主催第二回朝鮮視察團一行十餘名鮮內各地を視察し三日浦を經て二日夜列車にて來群し三日府內要所を視察し府廳に於て茶の饗應を受け群山發二番列車にて

▲西濱埋築● 群山商業會議所に於て豫て企畫中なりし群山西濱埋築事業は一昨年來の懸案として既に總督府の認可を經たるも工事上の關係上工事實行の遲延しつゝありしが這回金堤東拓出張所との間に工費借款の成立することとなり近く總會の決議に附し實行の運びに至る可し

▲藤井氏來群● 不二興業株式會社藤井寬太郎氏は數日前來群滯在中なりしが一日午後六時當地重なる官民同社支店地方取引店主等を料亭花月に招待し盛宴を張りたるが同氏は三日午後六時發列車にて歸京の途に著けり

▲管理者辭任● 金堤學校組合管理者として功勞鮮なからざる北尾榮太郎氏は同地石川縣農場支配人となりしが都合により組合管理者の辭任を申込みたり

安東縣

▲水陸防疫施設● 內地及び朝鮮方面虎疫流行に就き同方面より來る旅客に對し安東縣驛に於て又た鴨綠江を溯航し來る船舶に對しては下流三道浪頭に於て支那側と協同檢疫を爲すことゝなりたるが滿洲の際には朝鮮側柳草島水道を通過するものの多きを以て新義州署にて安新兩警察署の上柳草島沿岸適當の場所に監視所を設くる事となり同署久山警部は四日同地へ出張せり

▲防疫訓示● 朝鮮各地方に虎疫流行しつゝあるを以て東邊道尹は對岸各縣知事に對し此際至急防疫設備を爲す可く訓合せり

▲教育制度調查● 東邊道各縣教育會長一行二十四名は東京に於ける各府縣の教育制度調査の爲一箇月の豫定にて六日出發渡日する筈なるが一行の案內として多分安東小學校職員中より一名同行す可し

▲柴崎校長通過● 柴崎京城中學校長は四日朝安東驛通過奉天に向ふ

▲鎭守使出奉● 東邊鎭守使馬中將は三日午前發列車にて軍務打合の爲奉天に出張せり

平壤

▲平壤九月中貿易● 平壤に於ける九月中の貿易總額は三七一〇五五圓にして內輸移入品三五二一一九圓輸移出品一八九三六圓なるが主なる輸移入品はシーチング吳服物機械類爆發物清酒綿布等にして輸移出品は牛皮を最多とし昨今大皮六十五圓中皮六十七圓小皮四十七圓位の價格也因に金塊出廻は九月中三〇〇二〇〇圓なりと

▲排水工事近況● 平壤府に於る排水工事近況は直營工事にありては目下主として鐵筋コンクリート管の製作中にして既に八分五厘方即ち總本數三千中二千六百七十五本の製作を見たるが請負工事にありては惡疫院前より普通江に至る樋下水の浚渫約九分通り竣工し隋渠理管工事は幸町通を著手中なり又附帶工事として稅關前より舊陸路門迄の間防波堤の築造をなし陸路門附近船著場は水路約五分通竣工を見たり

▲平壤監獄近況● 平壤監獄在監者總數は一〇二三名にして內刑事被告人男六四人同女七人受刑者男八七九人女六六人勞役留置男五名携帶乳兒男二人あり而して刑事被告人中死刑確定二名無期懲役男七名女三名あり外役囚二六二人其他は大分部藁工にて製作品の重要物は機業なり即ちチンチウー織物第一位にあり製作品は總て一般に賣下げつゝあり價格市價の六分位段なり病者は全部四二人にて傳染病者一名もなく衛生狀態總て佳良なり。

▲陸軍官舍● 工程 平壤陸軍官舍は總ての建築を九部通り竣工を見たるも材料中瓦及び木材の不揃なりし爲め豫定期日たる十月十日迄には其竣工至難なる可く多分十月末日頃請負業者より經理部に引渡すに至るべしと

□忠南より

小原烏兎生

十月三日瑞山邑にて

一筆啓上。昨夜天安驛より二十四里の行程を自動車にて突破し、午下當邑に到著仕り候。沿道天安牙山、禮山、洪城、瑞山の各郡とも滿地穰々の秋、平年作に比し、約二割以上の增收と申し候得ば、之をこそ十二分の豐作と申可ければ、改良種の普及と、稗の一般に能く拔き取られ居候事と、亦頗に快心の至りに御座候。先般、道より鄕約を土臺とし、之を今日の時代に適合するやう、編み換へ、地方洞里に獎勵せし、洞里振興の到る處、歡迎せられつゝ有之候事も亦愉快なる事の一に御座候。蝦夷菊や遠く廣野來し驛の宿

仁川

▲防疫寄附額● 虎疫發生以來仁川有志にして府の防疫費中に寄附したる人員は九十名三千二十九圓五錢に達したり因に府廳に於ては寄附者に對し感謝狀を發す可しと

▲管內居住者● 九月末日仁川警察署管內內地人居住者は男六千二百四十九名女五千六百五十七名合計一萬一千九百六名にて五月末現在に比し百名の增加ありたり

▲船客出入數● 仁川港九月中の船客出入數は內地人千七十朝鮮人二千百三十八支那人千二十歐米人五十三にして合計四千二百九十一名なり

元山

▲大棧橋連絡道路● 元山築港工事進捗するに伴ひ元山府に於ては本年度內に是非とも大棧橋連絡道路工事に著手せしむべく目下之れが工事費の補助申請に關する下調べ並に道路の設計等に著手中なるが今其の設計の內容を聞くに大棧橋より吉田商會の橫を過ぎ旭町に出で蛇目鑛業事務所及び丸金旅館の一部を縱斷し幸町を憲兵隊橫に至り既設海陸連絡道路に接續する市街の道路にして之れに要する工費の豫定額は約一萬圓なりと

▲列車延著原因● 二日午後四時十五分を以て元山驛に著すべき同日南大門發京元線一番列車は約一時間延著したるが今其の原因を聞くに同列車は途中福溪驛にて食鹽積載の貨車一輛脫線し之れが復舊に約一時間を要した爲めなりと然るに乘客其他に對し何等故障なかりしは幸なり

▲元山水道成績● 元山府に於ける水道使用者數及び道の成績を見るに水道客月中料金の收入高等は前月に比し大差なし今や追々冷氣に向ひつゝある折柄なれば使用水量は漸次減少すべき筈なるに之れを前月に比すれば十萬立方尺（一萬五千石）の增量を示し總給水料九十二萬一千八百十七立方尺即ち十三萬八千石を算し居れり

西鮮行寸信

十月一日 坑道の底より　日新生

▲小生は只今平林主任、吉川技師の兩氏に導かれ長淵濱田鑛山の本山舊四番坑內に入り込み申候、今日は朔日の休日とて坑內人影なく三人は杖代用の小槌を鉛いて二十目蠟燭の光を便りに黑暗なる坑道を辿り時餘を費して二百尺のドン底を極め申候

▲當鑛山は最初金鑛を主眼と致し居り候ひしも亞鉛業騰の結果今日にては金を後廻しとし全力を亞鉛の採掘に注ぎ居り候、然るに同鑛は之と其の共有する鉛鑛は往時鮮人に依りて採掘せられ現に鑛區內には三十に近き舊坑跡有之、目下は概ね其の舊坑を再鑿して土石と共に放棄せる鑛石を掘き出すと同時に其の走鑛を追ふて採掘を進め居り候

▲此の四番坑も亦舊坑の再鑿にて土人は之れをシユインピランコリと申し傳へ候、平林氏の言に依れば年代は不明なれど曾て土石崩壞して坑內の鑛夫悉く橫死を遂げし事ありしが其の時坑口の前には五十人分の笠が脫ぎありたりとて五十人笠の溪と申し居り候由に御座候

▲さらぬだに臆病者の小生は頭上を蔽ふ岩壁今にも崩落やせんと支ふる岩角今にも碎けやせんと身に添はず只管逃び出る機會を窺ひ居り候にも拘らず左樣な事には一切頓着なき吉川氏は頻りに備語を交せて走鑛の狀況を說き平林氏は坑道の歷史を語つて飽く事を知らず果ては當時の人骨を拾ひ上げて小生の鼻先きに突き出し申候

▲坑內を出た時は蘇生の感あり匆々に山を下りて事務所に休息致候

人事

▲忽滑谷快天師（曹洞宗大學講師） 六日夜入京曹洞宗別院（若草町）へ

▲深川保義男氏（帝國生命保險會社專務取締役） 六日朝入京浦尾旅館へ

▲小川庄太郎氏（同上社員） 同上

▲松井松次郎氏（仁川在勤土木局技師） 十二日出府を命ぜらる

▲入江海平氏（理財課長） 北鮮及び間島方面に出張中なるが十日頃歸任すべし

▲白井水城氏（開城辯護士） 六日斷訟用にて入京即日退京

◎米支鐵道借款調印說

支那政府は米國シームカレイ商會と二千萬弗の鐵道借款契約を締結し三十日調印を了せりとの說あり（上海電報）

◎米國三巨頭の握手
極力ヒユーズ氏を援助せん

米國大統領選擧期日切迫し來りルーズヴエルト、タフト兩氏と共和黨候補者ヒユーズ氏と握手し極力ヒユーズ氏を援助して民主黨候補者ウヰルソン氏に當る事となるべしと（紐育電報）

◎サロニカ聯合軍戰備成る

サロニカに於ける聯合軍は英佛伊露塞五國軍隊より成り一切の戰備整ひたるを以て將に活動を開始せんとしつゝあり（紐育電報）

歐洲地圖を御座近く

學科と體育に御心を注がせ給ふ

高輪御殿に在しまして近く立太子式を擧げさせ給ふ東宮裕仁親王殿下の御近状を洩れ承はるに殿下には毎朝六時より七時までの間に御起床遊ばされ御洗面後直ちに御寢室を出でさせ給ひ一時間の中に御朝食を了らせ給ひ暫時御休憩の後御學問所に入らせられ八時半より御日課にて學科は中學三年程度の『新式日本歴史』『中學讀本』などは既に其の第二卷をも卒へさせ給ひ

就中御用掛白鳥庫吉博士の特別謹選に係る『國史』の如きは目下其の第三卷を講究申上げ居る由なるが不審の點あらせらるゝ際は必ず御下問遊ばされ『先生これ〳〵は』と懇篤に御質問遊ばさるゝが常なりと尚右の外漢文、數學、地理、佛語等、理科、倫理學等をも熱心に學ばせられ更に深く體育に御心を注がせられ加藤中將は日々參殿して御相手申上げ時には殿下には日に増し御健康にあらせらるゝ由にて御習字の後暫時御休憩の後一定の時間は日々御散策にならせられ御菜園の御手入等ありて午前中の御課業を了らせられ御晝餐の後は御入浴

殿下には軍事に關する御研究甚だ深く

殊に歐洲戰爭の大地圖を御手許に備へさせ給ひ戰爭の經過を近侍の武官より御聴取らせ給ひ時々其の戰況の一進一退を筆もて圖面に書入れさせ給ふなど一般人の想像だにも及ばざる御熱心と云ふべし（東京）

油斷の出來ぬ保菌者

朝鮮人は一體に抵抗力が強い

仁川の虎疫は驟に發生撲滅期に入り、目下の所四五の患者を發見するに止まつて居るが、保菌者は急に其の數を減じない、仁川府内居住者十五萬乃至二十萬名を新に檢便し居る為め保菌者の發見に依つて此れを攻撃し、更に中間に於て自己の發病をも見ざる間に其の繁殖を來たし、其の保菌者は主として朝鮮人にして内地人の者は僅々數名に過ぎない。總ての病原菌を包藏しながら其の身體が發病を免れて居る、斯る者は細菌學上所謂保菌者となる者等に惡結果を齎す者の中に在る等も

◆仁川檢疫所の觀察　に依つて見るに、由來保菌者は防疫上最も恐る可きもので、何故なれば健康であるから他から疑はれず自ら警戒もしない、而も其の排泄物中には常に病菌を含んで居る、保菌者の數は想像以上に多く、一時は患者の三十七名を發見した位で、其の中には三四人位は鮮人のものであり、今でも百人の中から三四人位は發見しつゝ有る狀態で此等の者が平氣な顏で放蕩し排泄された不潔物は或は下水を汚染して菌の繁殖を容易ならしめ或は蠅に依つて傳播されるなど

◆種々の原因に　依つて病毒が撒布さるゝ虞があるから病毒に冒されて虎列拉としての症狀を現はす者よりも寧ろ此方が危險である、仁川では防疫會議の結果今後全力を擧げて保菌者の全滅を謀る可く、採便檢査を督して日々四五百の便を檢査して居るが其結果に依ると仲々油斷が出來ない、從來の經驗に依れば朝鮮人は一體に抵抗力が強い爲めか内地に於ける虎疫流行地に比して保菌者が多い樣である、保菌中には

◆既往の流行時　に於て虎疫を經過した者の免疫體となつた者、

陷落後のトレビゾンド要塞＝東方戰場

飛行機格納庫十棟設置

南軍の根據地久留米練兵場に

近く擧行せらるべき大演習に於いて多數の飛行機を使用することは屢報したる如くなるが其航空隊の南軍の根據地たる久留米練兵場に於て愈々飛行機を入べき十棟の格納庫を設置すべき樣其筋より久留米第十八師團司令部に下命ありたれば經理部に於ては來る十日其入札を行ふ筈なるが

△格納庫の構造　は丸太掘建家建坪約四十一坪にて飛行機の格納をなせり騎兵隊の裏より野砲隊裏に至る間に於て設置し十棟共正面は南方なり格納庫の大さは各棟共奧行三十八間なり兩翼の袖は十八間にて高さ二間、棟まで四間半あり總てバラック式にて設置すべき正面の間口は五十八間にて容さ、其奧行は

▲同時に天空に　飛翔して或は敵狀を視察し又は爆彈を投下するなどのことは想像に難からず既往の大演習に於いて一軍に十臺の飛行機が隷屬して活躍したることなしと云へば今回は定めし空前の壯觀を呈するなるべしと一體筑後地方は櫨畑多き故著陸には最も困難なる由なれば一旦敵狀を視察し其他の任務を終へたる後は必ず前記根據地まで歸りて著陸せざれば隨所にて著陸は頗る危險なりと（門司特電）

◆新増築病舍に　收容されて居るが同所は土地が高燥で日當りは宜し設備が完成して居るので十數日の間警戒線内に固く蟄居して居た保菌者等は遊んで馳走に預る事とて喜悅滿面朝から晩迄收容所内でピン〳〵跳ね廻つて居る

なるが要するに此等保菌者を根絶せぬ間は到底防疫上有終の美を濟したとは謂ひ得ないのである因に保菌者は何れも新花水里の戸也前記格納庫の數に依り南軍に屬すべき飛行機は十臺なることも略知せらるゝ譯なり併し十臺の飛行機が翼を連ねて一時に飛行するかは疑問なるも代る〴〵尠くとも三四臺の飛行機が

大遭遇戰

近く行はれん

南軍演習三個部隊は豫定の如く各自の野外教練を實施し演習統監市川少將の指定したる地點に集り四日東軍は新幕に西軍は沙里院に宿營し五日は休養せり統監市川少將は兩軍の編成完成するや五日午後三時沙里院に於て兩軍司令官に對し『東軍は開城に至り西軍は平壤に兵力を集中しつゝあるが別に東軍の一部隊は海州に集合中なり』との一般方略を與へたり何れ兩軍とも六日午前六時より運動を開始し興水驛附近に於て一大遭遇戰行はるべしと（平壤特電）

砲聲轟く

相模洋の演習

四日より三日間相模洋にて舉行の横須賀鎭守府基本演習は同日午前五時吾妻山信號所の信號にて開始と同時

◆幽靈は美人と入道

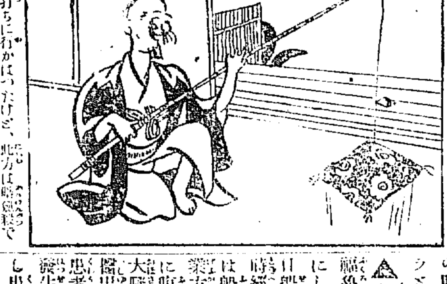
元山鐵道官舍の珍事　元山鐵道官舍合宿の三番室で毎夜草木も眠る丑滿頃に至れば妖艷花をも欺くばかりの美人の姿悄然として立ち現はるゝより或夜元氣の若者起き出でゝ之れを引捕へんとしたところ鳳下つたひに何處ともなく消え失せたりと又同官舍構内の夜警を勤むる男二人が同じ場所で幽靈美人の姿を認め棍棒を以て撲り倒さんと手摩へがあつたとて其翌日前夜の場所を改め見たるに二個の棒跡を止めたるのみなりしと而も尙ほ一層奇怪なるは同三番室の隣室に當り夜更くるに及び異樣の光を浴びて怪しき大入道の影現はるゝとて元山では噂頗る高し（元山）

に軍港附近は封鎖狀態に入り藤井長官統監の下に侵入軍は松本筑波艦長の指揮にて橋立、津輕及び十七驅逐隊防禦軍は荒川朝日艦長の指揮にて周防第三驅逐隊第二艇隊各々隸屬し追濱より二臺の飛行機侵入軍に加はり最初は搜敵行動にして六日對抗演

馬車列車に衝突す

仁川濱町浦竹太郎方雇人秋山秀一（二三）は去る四日鹽叺十三個を積載したる馬車を挽き花房町一丁目鐵道線路踏切に差掛りたる處折柄京城行きの列車に衝突し馬車は破損し馬は右腰部を負傷したるが秀一には何等異狀無し

◆漫畫この頃　今日も裂の話さん、未練たらしく釣竿を弄り廻し振り廻して曰く『今年は川尾局の魚も悩んでたるやろ、魚も大きうなりよつたやろ』とか、來年は五六尺い鯉が釣れるで、隣家の大將に自慢せられた『オツ……』



飛降りて負傷

五日午後七時過ぎ龍山發東大門行き京城電氣株式會社の九十七號電車が朝鮮銀行前停留所附近を進行中乘客なる長谷川町居住の廣安くら（四二）が飛降りをなし頭部を打ちて人事不省に陷りたる騷ぎに本町警察署員駈付け旭町小林醫院に擔ぎ込みて應急手當を加へ漸く蘇生せしめたるが生命に別狀なかるべしと

嫌疑者捕はる

群山の鮮婦人殺ろし　群山九條通ヶ丘上に於て三日午後鮮婦人の慘屍體を發見せる事は既報の如くなるが早くも群山警察署に於ては四日午後有力なる嫌疑者を檢擧したり嫌疑者は朝鮮人にして他地方より兇行當日の兩三日前群山に入込み旅館に泊り込み居たるものなりと（群山）

夫婦強盜控訴公判

釜山地方法院にて死刑の宣告を受けたる京畿道大邱覆審法院に控訴したる東萊郡別宅番人殺し犯人吉木又平同妻りうに對する第二回公判は五日開廷證人の取調べあり證人として召喚されし

賢子吉木榮は被告に不利なる證言をなしたり斯くて辯護人の辯論を了り裁判長は十二日判決言渡すべく宣し午後五時閉廷せり（大邱）

コレラ彙報

▲湖南線熊浦に發生　湖南線江景附近熊浦に虎疫患者三名發生せし旨同地警察署より大田警察署に通知ありたり（大田）

▲慶北盈德に疑似　慶北盈德の江口港にて内地人一名甘浦にて鮮人一名の吐瀉患者を發生し何れも疑似コレラと決定せり

▲群山に疑似　群山新興洞釜船舶（三〇）は港内碇泊中の漁船乘船夫にして常に船内に居住し居たるが四日船内に於て夕食に蟹を食してより時經て輕微の腹痛を起したれば同人は船より上陸し知人群山私昌洞宋方に到り其夜同人方に一泊したるに腹痛益々加はり吐瀉を初めたれば大騷ぎとなり五日午前八時警察官出張し檢診の結果疑似虎疫と決し患者は直ちに隔離病舍に收容し患者の發生船舶及び宿泊家屋に大消毒を施し患者の宿泊せる家屋附近二十餘戸の鮮人交通遮斷を爲したりと（群山）

▲朝鮮魚入禁止　虎疫の流行地なる長崎縣は漸次下火となりたるにも西南の沿岸地方一體は虎疫あるより長崎縣熊本縣は朝鮮沿岸に漁獲せる生魚の輸入を禁止せりと

讀者文藝

△謎題（時計と掛けて）心は

▲新患者發生　大邱　高等小學校及び幼稚園は一名疑似虎列拉患者發生一日より今五日迄臨時休校し市内一般虎疫終熄せざるに來る十日迄五日間休業の由（大邱）

▲小學校の休校延期　大邱

▲新患者發生　大邱にては憲兵隊員全部必死となり警察と努めつゝあるが初發以來を極め四日午後四時より時までに又復内地人一名吐瀉患者を發見し全部合九名の多きに達せり（大邱）

新町の大消毒

京城新町元相生樓跡を修繕中發病したる大工中島政一（三三）は四日眞正コレラと決定したるが同人が發病の爲め新町にては元相生樓を初め附近三戸四十九名尙本町四丁目の空家は患家を合せて五戸十五名を隔離大消毒したるが同人は二日迄龍山漢江通り十六番地十六號の鐵道構内に居住し居たる關係上同所も二十六戸百十五人の隔離と消毒をなしたりと

▲保菌者八名　麻浦にては三日コレラの發病ありたる以後龍山憲兵分隊にては毎日隔離各戸の消毒及び採便をなして檢鏡に附しつゝあるが五日午後四時迄に隔離家屋中より保菌者八名を發見し何れも健康者なるも順化院に收容したりと

▲眞正患者死亡　龍山麻浦洞

無料コレラ豫防注射開始　黄金町三丁目附近及び其一帶コレラ豫防注射無料にて施行す（但二日百名限）自午後一時至三時　京城黄金町二丁目電話二八三七番　朝鮮實費診療病院

▲仁川虎疫益々減少

▲巡査補缺に就て

▲仁川で感染

〈演藝案内〉

日本活動寫眞株式會社特約　本町一丁目　電話一六六　有樂館
十月七日より特別大興行

天然色活動寫眞株式會社朝鮮商會　電話一八五二（階上）二六三七（階下）　黄金館

一行每日開演　御成座

大正館

京城　壽座

賣出骨董入札

マラリアに一番ヨクキククスリハ　龍山林藥房製劑　マラリア特効丸　本舗　林藥房　代理店　山岸天祐堂

髮をしなやかに　丈長がく　美しく房々と　黑くするは　漆のやうに
廣い世界に　ー　パール煉香油があるばかり
パール愛用者がおつしやる實話であります
本舗　東京　平尾銑也商店
關西代理店　大阪　平尾贊平支店

天氣　十月七日　晴れ

故乃木將軍と一處に踊つた

市十郎＝昔の芝居＝朝鮮料理

『いろ〳〵御贔負にあづかりまして誠にハヤ――と』舞臺で口上を言ふやうな格好、厚い綿入に同じ羽織

◆荒い縞　のモルの袴を几帳面に穿いて、背中を丸くしながら御辭儀をしたのは山本旅館の中二階に香なんか焚きながら納まつてる市川市十郎だ、老人寢るのが何よりの樂しみで朝七時過ぎに起きると先づ

◆朝飯を　喫して、靜かにお茶でもいれると、それを呑んで一時過ぎまで寢てしまうのださうだ『舞晩中々草臥るだらうね』といふと老人平氣で『いゝね御蔭で達者でどうやら舞臺を勤めさしていたゞきます』と少しも弱つたらしいところが無い老人頗るの

◆話好き　で五十年も前に自分が役者として始て大阪から東京へ上つて團十郎や半四郎など一座して芝居した時の話やら長州征伐、會津征伐當時の京都の騷ぎの模樣やら、自分が師匠として事へてゐた故多美藏を

◆中心こ　した古い大阪役者の話やら京都の公家屋敷へ招かれて野芝居をすると、そのお姫樣たちが簾の間から紙筒で覗く話やら吾々とは大分隔け離れた時代の古い話をいかにも役者らしい物馴れた容子で

◆淳々こ　語り出す、市十郎が三十四五の時であつたが讃岐の金比羅樣の近所の或る醫者の所へ招かれて行つてゐると其處に自分と同じ年輩位の軍人らしい人が來てゐて、主人と三人で踊つたり跳ねたりさあ飲めや〳〵といふわけで

◆三人が　膝を交へて酒を飲んだ事があつたが、あとから聞いて見るとそれが故乃木將軍で、まだその當時は血氣盛んな頃で、その當時はそんなに豪い人とも思はずにゐたところ先年あゝいふ事になつて神樣にまで祠られる樣になられたので、その時扇に字でも戴いて置けば好い

◆記念に　なつたものをなどと言つたりした、その內に贔負の客から朝鮮料理を馳走するから晝飯は喰べずにゐる樣にと市十郎の番頭が傳へて來る、ホヽツ朝鮮料理の御馳走何や知らんが面白うおますな、と老人嬉しさうだ

◆舞臺へ　出て眼を剝くと素敵だが、平素は元氣さうに見えても流石に年の爭へない好い爺さんだが、隱居である。

三浦家の藏品

入札賣上十六萬圓

三浦觀樹將軍所藏品四百五十三點は三日東京美術俱樂部で入札されたが珍しい好景氣で先づ呼物の國野王の玉編は一萬七千百圓で京都土橋に落札、大阪藤田男の手に歸したが散會間際に奈良の玉川某は千圓の利付をなして讓り受けやうとして交渉中にならず又時代螺鈿花鳥大卓は一萬三千八十八圓で松永が抑へて古河虎之助男に送る此二番札は平山堂は一萬二千七百圓、次に徂徠造元凡五律は一萬二千四百圓で川部に落ち四國の染料成金菅某の庫中に收められた如拙の維摩は平山堂の八千八百三十七圓で薩摩英二氏の手に歸したと云ふ有宗の大社頭は四千五百圓の土橋の札で京都の某田氏が占める猶ほ呼物に數へられてゐた石槨神師の注釋、周文の眞山水、同上布袋、菜賓の華花和尚等は何れも親りとなつたがそれでも賣上總計十五萬六千五十圓を算した千圓以上の高價付は左の如し

▲太子時代織物如意輪觀音（五千三百圓土橋）▲天平時代武藏野蒔繪水指棚（三千八百圓同上）▲周銅三足香爐（三千八百七十圓山西）▲名物裂箱（三千六百圓伊藤）▲鎌倉時代鐵大燈籠（三千五百五十圓山西）▲普賢菩薩（二千八百五十圓土橋）▲梨子地京花蒔繪硯箱（二千八百五十一圓伊藤）▲月輪關白消息（二千五百三百圓土橋）▲原寺記宣山水（二千五百八十圓林）▲天平時代興福寺文庫（千八百七十圓伊藤）▲堆朱輪形中央卓（千七百八十八圓梅沢）▲鎌倉時代木地寺子屋机（千八百八十六圓金子）▲四枚（千五百八十一圓伊藤）▲元價延後跋（千二百八十一圓久保田）▲吳州赤繪玉取鉢（千二百五十圓土橋）▲惠心僧都阿彌陀如來（千二百十圓伊藤）▲紺紙金泥經（千二百十圓平山堂）▲粗山陽鴨川詩（千二百圓土橋）▲王若水花鳥双幅（千百十圓川部）▲八寶蓮厨子（千圓土橋）▲青磁線花紋浮牡丹水指（千圓同上）

乳と卵と肉には

▽何んな滋養分を含んでゐるか△
▽何うして食べたら最も良いか△

▲秋風が吹いて食が進む時となつた、乳と卵と肉は飲食物中滋養の多い點に於て最優等のものである、其處で其滋養分を比較して見ると牛乳の內に含まれて居るものは蛋白質、脂肪、含水炭素、無機成分で、其中の蛋白質は三種類に含まれて居る、即ちヌクレオアルブミン、ヌクレオグロブリン、カゼインで、是等は胃液に會うてアルブモーデ、ペプトンと變じ體內に吸收されて營養となります

▲牛乳の脂肪は動物性でバタ、カリン、オレイン、ステアリン、パルミチン等が重なるものです、牛乳の白く見ゐるのは是等脂肪の球が溶けて居るからです、含水炭素と云ふのは即ち砂糖の事です、乳汁より製したものではバタ、脫脂乳、乾酪及びコンデンスミルクがあります

▲脫脂乳はバタを製した殘りの乳で歐洲では乞食が飲みます、日本でも此牛乳を知らぬ顏をして新しいのと同樣に賣つて居る所があります、コンデンスミルクの中には輸入の際に赤道を通過する時腐敗するので砂糖を定量以上に加へてあります から小兒に飲ませるときは餘程注意しなければ小兒は腸を害して大腸加答兒になります

▲卵は蛋白質丈です、卵の蛋白質はオベルカルブミン、オベルグロベリン、オベルムコイドで卵黃の方にはヴヒテリンを含んで居ます白よりも卵黃の方が滋養になります

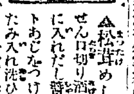
▲肉は獸肉、魚肉、鳥肉で其の重なる成分は矢張り蛋白質です、肉の蛋白質はミオゲン、ミオジン、チスクリン、アルブミン、ミオグロブリン、ヘモグロビン、アルブモノデ等で其の他にソープの成分となる物が入つて居ます脂肪は牛肉では蛋白質より少いが豚肉では多くなつて居ます

▲肉を調理するには一、營養價を變せざらむこと二、消化し易くすること三、寄生蟲を全く殺す事を注意すれば宜いのです（一）（二）の條件を滿足さするには生肉を食すれば足りる然るに生肉には寄生蟲即ち旋毛蟲條蟲が居る處がある許りでなく種々の細菌が附著して居る事があるから煮て食する方法を採るのが宜い

▲煮るには水から煮れば養分を多く水に失うから不可ない又熱湯に肉を入れゝば硬くなるから駄目です、其處で燒く方が便利です攝氏六十度に熱すれば寄生蟲も細菌も死滅します、今各種類の含有物を示せば左の通りである

品名	蛋白質	脂肪	品名	蛋白質	脂肪
鯨	七、九	[illegible]	鷄肉	三、一	二四
馬肉	二〇、三	二	豚肉	二〇、〇	三
牛肉	二二、七	三			

卵の一個と肉の四十瓦と牛乳の八勺とは同じ滋養になります



▲松茸めし　松茸を洗ひてせん切り酒を煮立てたる中に入れだし醬油を加へてザツトあじをつけ其煮汁を鍋にすたみ入れ洗ひたる米を入れて不足だけの水を入れて醬油の水かげんとして塩を少々入れあじなみてたきあげ鉢にうつす時に前の松茸に一個づつきにうつし取る

―△會のいろ〳〵▽―

▲爵事集團會　七日午後三時より京城驛樓上紅葉門で[illegible]にて開催

▲靈泉送別琵琶會　八日日曜日午後六時より寄館に於て筑前琵琶師匠服部靈泉女史の歸郷送別演奏大會を開き左記曲目の演奏あり會費として入場料三十錢宛にして同女史歸國の旅費として贈呈する由

▼演奏曲目　[illegible]

神社とお寺と教會

◎フレンチ大佐歡迎會　救世軍朝鮮本部監督フレンチ大佐夫妻の入京を期し九日午後八時より鍾路青年會館に於て歡迎會開催の筈にて當日は朝鮮本部員を初め渡邊高等法院長、松永京畿道長官、三島鮮銀理事、松井鍾路署長等も臨席すべしと

○護國寺（旭町三）　八日午後七時より宗祖日蓮聖人龍口法難日に付き說教及び法要あり尚ほ鬼子母神の緣日につき供養ある由

○東本願寺（南山町）　七日午後二時より三日敎の說敎猶午後七時半より土曜講話あり

○天理教龍山布教所　六日午後二時より鮮人敎信者の夜學部始業式を執行せり

商況

債券現物特電（前日との比較）
東京公債直取引
深川在米特電
東京期米特電
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電
雜報

[illegible]

綿布は更に強硬

五日の大阪綿布は利喰安の報に[illegible]

百六十三圓處

之を實行

清酒卸さ値上

一圓と內定

小賣も又々

一升に付五錢の値上

綿糸は新高値

不釣合の割安

生果類入荷增加

下關相場

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山市場　三日

[illegible]

生魚市場

仁川期米

▲六日前場

大阪天候晴天前寄

十五圓十四錢と昨止より五錢高の入電二

錢と大爆騰と更に七十六錢〇九錢と小安き移

大阪三両〇七錢四錢十六錢と暴騰を受

形勢忽ち一變し

市場零聞

▲遂に爆發す

▲前場の手振

▲㊀の大商內

▲㋑の大商內

▲㋩の大商內

▲今の利喰賣

▲㋙大に賣る

▲㋷の商內

▲㊉能く賣る

▲㊁能く買ふ

▲㋯能く買ふ

▲中限昂騰す

▲現東の活動

▲軟東の爲め聊苦痛

▲及動を來す

▲遂に軟派一部の崩

▲招致

仁川米豆取引所

北濱だより

小賣白米

隨賓　仁川米豆取引所仲買人　廣瀨正太郎　迅速　電話六二〇番

世界的大　英佛露伊白五ヶ國ニ於テ　賜天覽　日活會社興行權利附　寫眞提供

七日ヨリ特別大寫眞

此の古戰史を實現せしむるに左の人員と數十萬の費用とを要せり以て其大作の一端を窺ふを得べし

英國史外史傳　ジエンシヨーア　全五卷

一、出演俳優八千三百五十名　二、大道具師三百八十名　三、衣裳數一萬五千八百枚　四、馬匹ノ數一千二百五十頭　五、甲冑重量一百二十噸　六、武器ノ數一萬〇三百四十點　七、木材ノ數七萬五千九百呎　八、背景畫ノ數三萬八千七百五十平方碼　九、特設鐵道列車八十五臺　十、使用鐵道哩數三千〇〇八哩　十一、公設道路使用五百八十二哩　十二、運搬費用一萬八千五百圓　十三、衣裳價十萬五千圓　十四、使用雪ノ重量二百九十五貫目　十五、人夫使用數一千八百五十名

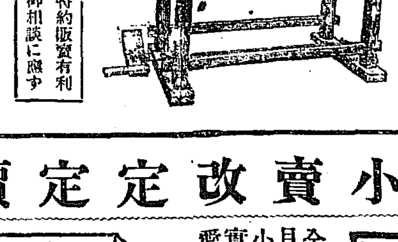
「エドワード」四世統治の下アー絕世の佳人と呼れしも一朝の政變と恐るべき嫉妬の爲め遂に寄る邊なき身の生涯を畫き今尚東西に通じて隱れなき大英國史の外史傳即ち戰國時代に於ける佳人ジエーンシヨーアの憂き物語り

日活關西撮影所大車輪大傑作　舊劇切られの富　全三卷

本町二丁目　有樂館　日活特約

各種染料　染料商　地方より御注文は各洋行品御希望の通買次可致候　京城長谷川町五十八番　後藤商店　電話二一八番

俵裝改良と農家副業の良機　專賣特許　國益製繩機（特許細太自在機附）



現代の農業は世界的の規模と迅速を要し不完全なる農具を使用すれば必ず失敗するや論を俟たず理想的完全無缺の良機を得んと欲せば先づ當會製作品の說明書を見られよ御申越次第直に送呈

製造發賣元　東京上野停車場前　內外農器商會　電話下谷三七二　振替東京四五八

煙草小賣定價改定

改定定價　金貳錢五厘

全鮮煙草製造同業者協定により十月五日より萬福ホワイトコスモス小賣定價改定候に就ては今後益々實質本位の良煙を提供可仕候何卒愛用の程願上候

改定定價　金參錢

朝鮮煙草株式會社

桐の一葉に
秋立つ今は
御婦人健康の危機！

されば此の際怠りなく

婦人良藥 **中將湯** を召して

怖ろしき病魔の手を
未前に避くる用心が
誰方にとつても刻下の急務

主治効能

- 子宮病子宮内膜炎にて白帯多く腰腹冷えて下腹部の引つり
- 婦人神經（ヒステリー）血の道にて頭痛眩暈ありて物を苦にし
- 月經不順月經滞り勝にて欧吐惡心多く又何んとなく氣鬱し
- 逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え息切れ動悸頭く手足痺れ
- 十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む
- 白帶赤帶下多く顔色蒼白き人冷症にして難産流産の癖
- 産前何となく常ならざる人。惡阻産後古血の滞り或は肥立
- 子宮出血の道月經不順に起因する諸病にてぶら／＼と惱む

定價

二日分	二十錢
四日分	卅五錢
一週分	六十錢
二週分	一圓十錢
三週分	一圓六十錢
五週分	二圓五十錢
十週分	四圓五十錢
加減藥あり容器詳しく御申込あれ	
一週分	七十五錢
四週分	二圓五十錢

▼現今中將湯の賣行隆盛なるを羨み粗惡の僞造品を賣る者あり御買求めの節は必ず登錄商標『中將湯』の三字に御注意あらむことを乞ふ

▼中將湯は世界到處の藥店にあり。

婦人衞生手引

御申込次第無代進呈

本書は月經時の手當を始め。婦人諸病の完全なる家庭療法、産前産後の攝生法等を知名の専門醫學士が親切平易に述べられた婦人必讀の寶典で送料として郵劵二錢を添へ御申込みあれば無代進呈致ます

中將湯

本舗

東京日本橋通四丁目
津村順天堂本店
電話本局 六十二番 六十三番
振替口座 六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
津村順天堂支店
電話南 廿五番
振替口座 四五六番

(明治卅九年九月八日第三種郵便物認可)
(年中無休刊 大祭日翌日休刊)
京城日報
第三版
七日朝刊 夕刊と合せて十二頁
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

戰爭と人口策

京城日報

今次の歐洲戰爭に於て、交戰各國が其の人口に失ふ所の數は蓋し莫大なるべきは、茲に數字を計上して示す迄もなく、何人も約そ想像に難からざる所ならむ。戰爭の行はるゝ範圍の廣大にして、文明の進歩せる爲めに却りて戰爭の慘害の太だしきものあり、既に今日までに列國の失ふところの生命は、幾百萬の數に達す、然かも列國多くは戰爭の過程に在りては死傷者の總數を公表せざるが故に、精確なる損失の數は未だ知るを得ざるも、其の失ふ所は、聯合側と謂ひ、同盟側と謂ひ、少くとも人口問題が今日甚だ重要なる國民的大問題となれる程の活問題たるは過去に於て既に然り、今後此の戰爭が何日まで繼續さるゝや、其の永引けば永引く丈け、列國は國民人口の減少を憂ふる事切實なるに至らむ。

歐洲交戰國が今次の大戰に際して直接に國民活力の中堅たるべき壯丁の[illegible]ひつゝある事は、戰爭に因するものとして致し方なき高價の犧牲なれども、翻りて現歐洲文明諸國の社會狀態を觀察するに、近年文明國に於ては人口出生率が漸次減少の趨勢にあり、戰前に於て其傾向は明かに看取せられたりき。文化の進歩に伴うて人類の社會生活上享樂的本能の熾盛となり來るにつけ、人工的避姙の行はるゝと、文明の最も進歩せる國に殊に著しきを見る。從て現下の大戰爭の起らざりしとするも、人口出生率が漸減し、人口增加率を漸減し、遂には人口の停滯を來し進では人口の減少を來すの趨勢は殆ど免れ難き社會的現象たりし也。既に之有るに加へて、現在戰爭により列國の失ふ所寔に多大、從て交戰國を通じて、戰局の永引くと共に、人口維持問題、人口補充問題、人口增加問題の、大に識者の間に注意を喚起せるは、當然の事と謂はざる可らず。彼の獨逸に於て、人口の減少を補はんが爲めに、最も露骨なる一夫多妻論すら唱道せらるゝに至れるが如き此に徵するも、此の人口問題は、如何に戰後に於ける社會經濟上の重要問題として、考慮せられ居るかを知らむ。

吾人は今次の戰[illegible]よりて、人類の文明生活に於ける多くの矛盾を眼前に例證せられつゝあり、而して人口問題に於て頗る眞面目にして且つ露骨なる人間の本能性が、國家的考慮の權威を著て公然助長せらるゝの實例を見る。此戰爭にして終局を告ぐるの日列國が鋭意戰後諸般の恢復經營に忙殺さるゝの時に方り、若し減少せる人口の補充が所謂自然的理法による以外、別に積極的に人爲の方法政策を以て行はるゝに至ることなしと謂ふ可らず、人口政策は歐洲戰爭が生み出せる國家社會經濟上の重要問題の一として、頗る注目に値するものあらむ。

朝鮮の古城郭(十)

八木奘三郎

(三)城郭の形狀大小

(承前)而して半月形の城郭は自然の地勢に制限せられしことは云ふまでもなき次第なるが、他の方形の類は純然たる支那式にて、是等は漢式城郭と稱する方適當ならんか、其理由は更に後段に述ぶ可きも、要するに古城郭の形狀が各民族偶然の一致を來すと見る人あれば、幷は全くの近眼者流にして、土俗、考古、人類、歷史に通ずる學者側より觀察せば、彼の太古石器時代の民族間にも多少土俗の流傳せし迹あることを發見し得す可し、況して城郭の類は人類發達後の築造物にして曚昧野蠻の社會には未だ行はれざるものなり、故に形狀の變化は別として、其風習は元來開明人種より四方に流傳し、然る後、動物學者の所謂變種を生じて、數種類の形式を呈するものなり、去れば城郭構造の根元は東亞に於ては無論支那ならんも、其流傳の間に變化を生じ、從て朝鮮の如きも二樣三樣の別を呈せしならんが、其中の一なる方形式城郭は系統上支那式たることを斷言して憚らざるなり。次に城郭の大小に就て見に、之は其發達史の上より論ずれば、最古の分は小にして、後世次第に絶大を極めしことは彼の船舶の發達と相同じ、然れども國家成立して、制度定りし後は、大小となく凡て國法の規定によること、我日本の德川時代若くは支那周代の風に同一揆に出づるものなり、而して城郭は大抵國家成立後に造りしものなれば、亂世以外、必要以外には必ず此制度の範圍内に於て大小を定めし譯なり、朝鮮に於ては其例は城郭の制度審かならざれども、今古城郭研究の參考として左に支那の例を記述す可し。

前回引く所古今圖書集成の文中なる說者謂ふ、百里の國、九里の城、五十里の國、三里の城、と云へる文の次に左の如く記せり。

『百里の國、外城九里、中城七里、内城五里、七十里の國、外城七里、中城五里、内城三里、五十里の國、外城五里、中城三里、内城一里、百里の國に於て外城を言ひ、七十里、五十里の國に於て内城を言ふ、互に文義を見すのみ、則ち是天子の城は當に十有二里なり』云々。

附言『百里の國に[…]ひ』以下は前回引く所多士傳の記事に就て述しものなり。同書に又曰く。

鄭氏曰、(中略)九里の城、七萬七千家を容るゝこと能はず、周禮に天子は中城なり、諸侯[…]り、春秋に曰く、城は中城なり、諸侯の中城あるを以て天子の中城あるを知るなり、城闕は即ち中城なり、中城は方九里なれば則ち宮城宜く方三里なる可し(中略)其外城は經傳文なし、公羊の說以て十雉となす、長さ二百尺、方三十餘里なれば、即ち相容るゝに足る、鄭鍔曰く、天子の外城宜く十二里なるべし、而して匠人國を營み城を作る九里なるは蓋し中城なり。故なり。此文後世の考說にて、經傳の記事にあらざれども、其言又聽くに足れり。

北鮮の大豆

元山支局 K生

北鮮輸移出品の中最も主要なる地位を占めつゝある大豆は氣候風土の關係上咸北、咸南、江原の各道何れの地に於ても作付に適せざるなく就中安邊、永興、咸興、北靑、端川の諸郡に最も多く產出し而も其の外觀の美なる點に於て朝鮮第一と稱せらるゝ殊に端川產の如きは大粒にして且つ均一なるを以て其の名世に嘖々たりといふも敢て誇大の言に非ざる程良質のものなりとす

△當局の奬勵 道當局は曾て大いに見るところありて一般農民に對し之が作付の奬勵に力を注ぐ事久しく豆種の選擇及び耕作方法の改善を促し只管斯業の發達を圖りたる結果漸く大豆の聲價を高むると共に農民は均しく大豆作付の有利なるを知悉するに至り從つて作付反別の擴張增大となり遂に產額の如きも著しき增加を示し咸北、咸南、江原の三道に於ける年產額合計約六十萬石以上に達するを得たり、而して大正四年中に於ける輸移出額は八萬四千七百九十四石四十六萬五千二百九十八圓を算し前年の四萬四千二百九十石三十一萬三千三百九十二圓に比し四萬九百四石十五萬一千九百六圓の增加を示し居たるに徵するも北鮮大豆が海外に於て如何に其の聲價を高めつゝあるかを窺ふに足るべし今や大豆は出廻りの時期となり將に輸移出貿易界一層の盛況を呈せんとするに當り我が北鮮地方は一帶に大豆の增收を告ぐる事頻りなり喜ばしき現象と謂ふべし

△內地の販路 由來北鮮大豆は主として淸津、城津、元山等を經由し大阪神戶下の關門司方面に移出されて居たるに近時聲價の向上及び交通機關の整備するに伴れ漸次其の販路を擴張し名古屋以東に於ける大市場との取引亦年を逐うて旺盛となりつゝあるを見る而して內地市場に在りて北鮮大豆の競爭品たるは北海道產の大豆にして即ち北海道に於ける豆の豐凶は直ちに我が北鮮大豆の需要額及び市價に變動を來し居れるは常に當業者の注意すべき事なり

△米國の需用 次ぎに北鮮大豆の使途の如何を述べんに上品は味噌の原料として歡迎せらるゝの外大粒物は內地移出後更に米國布哇方面に仕向けらるゝもの如く之等は同地移住邦人の生活資料として豆腐味噌等の製造用に供し又米國人も好んで食用となせり而して特に品質の優良なるものは石鹼材料若くは『コーヒー』代用品として糖分を混じ飮料に供すといふ次いで其の中品以下に至つては赤味噌、醬油、豆腐及び油皮等に使用せらるゝものなり

柳散る

—五の日十の日會—

○柳散る講話どよめき出たり　黃丘
○鴫下る月とも柳散る　虎耳
○柳散る階翠に立寄れり　烏堂
○洗濯もの一かゝへ柳散る哉　乙雨

仁川米豆取引所

大阪期米(六日)

▲更に上伸す 天候明天前場强硬の傾先大阪の[illegible]を受け十二圓二十錢[illegible]寄付たるが[illegible]

▲後場の手振 [illegible]七千餘石[illegible]五千餘石[illegible]各千餘石[illegible]各四千餘石[illegible]三千餘石[illegible]にて市場は相場の[illegible]

▲[illegible]能く賣る [illegible]

▲⑪の商內 [illegible]上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり[illegible]玉數五千餘石に上り[illegible]

▲强氣の前途觀 [illegible]に於ける米作豫想第一回發表後天候の良好にて大に見直したりとの事なるも第二回豫想は[illegible]

▲現物米 [illegible]五圓四十錢にて百二十七俵出來たり

(以下裏面欄外へ續く)

理學士 川口綾三氏著
色素製造化學
正價金貳圓廿五錢 郵稅金拾八錢
本書は染料、製造原料、中間化合物、色素本論、色素應用論の五編を收め學理にのみ奔らず專ら實用を旨として平易通俗的に解明したるもの也。

キルヘルム、オストワルド博士原著・工學士丸澤常哉氏譯
化學の原理
正價金貳圓貳拾錢 郵稅金拾八錢
本書は收むる處物質及性狀、形態、混合物、溶液及純粹なる物質、形態の轉移及平衡、溶體、元素及化合物、化合量の定律等の諸學いづれも化學の原理を敬へて懇切周到也。

キッピング・パーキン兩教授合著・石田理學士、湯田理學士共譯
新說無機化學
正價金參圓八拾錢 郵稅金拾八錢
本書は「新說有機化學」の姉妹篇にして其說明は極めて懇切丁寧にして如何なる初學者にも無機化學の原理を明確に會得し易からしむることを期せり、高等學校程度諸學校の絶好なる教科書又參考書也。

パーキン・キッピング兩教授合著・龜高博士眞島博士湯田理學士共譯
新說有機化學
正價金貳圓五拾錢 郵稅金拾八錢
第一篇には脂肪屬化合物、第二篇には石炭タール及其取扱法、ベンゼンの誘導性質芳香化合物、第三篇には染料アルカロイド及有機化學を詳說したれば前記新說無機化學の姉妹書にして本書なしも閑却せざるべからず。

理學士 森總之助氏著
力學
正價金貳圓八拾錢 郵稅金拾八錢
森先生が多年の經驗と深甚なる造詣とを以て編述されたる本書は物理力學を修むる學生諸氏が力學的觀念を習得するに於て匹を求め難き近來の名著也。

工學博士 田中芳雄氏 工學士喜多源逸氏共編
製造工業化學
上卷金貳圓拾錢 中卷金參圓拾錢 下卷金貳圓七拾錢 郵稅各金拾八錢
石鹼、蠟燭、ペイント、香料、砂糖、澱粉、製紙、人造絹糸、セルロイド、酒精、石油、アスファルト、タール、色素、インキ其他有機工業化學に關する新知識の集大成也。

工學士 喜多源逸氏著
工業藥品製造法
正價金參圓參拾錢 郵稅金拾八錢
工業上[…]要なる加里鹽類、過酸化物、アルミニウム、メタン、ブスチン、纖維、[…]製造、金屬化合物、染料化合物、アルコール製品等の如きものに新らしき最新の研究を敍還しゝるもの也。

東京高等工業學校教授 中島武太郎氏著
實用色染學
正價金貳圓廿五錢 郵稅各金拾八錢
色染學を述說したる著書中のオーソリチーの文獻を以て稱せらるゝもの、中島教授は多年高等工業學校に於て學理と實驗の兩方面に於て斯界の泰斗を以て許さるゝ人なれば本書の價値の概略に值ひする推して知るべき也。

工學博士 吉川龜次郎氏著
工業電氣化學
上卷金參圓八拾錢 中卷金貳圓五拾錢 下卷金參圓八拾錢 郵稅各金拾貳錢
上卷及中卷に於ては電氣の概念とエネルギーの變化及び水溶液の電解を說き下卷に於ては電熱の化學に及ぼす影響を述べ熱りに瓦斯體に於ける高壓電氣の放電を說けり。

工學博士 鶴居武氏著
最新寫眞術
正價金貳圓 郵稅金拾八錢
寫眞術に關する著書の多き汗牛充棟も啻ならずと雖も學理と實際の兩方面に亘りて寸毫の闕點する處なきは鶴居博士の本書を以て嚆矢とす、專門家讀むべく、操業に寫眞に親しむ者が讀むべし。

理學博士 加藤與五郎氏著
化學工業大要
正價金壹圓四拾錢 郵稅金拾貳錢
本書は砂糖、食鹽、曹達、硫酸、石鹼、肥料、石炭瓦斯、樟腦、香水、酒類、皮革、塗料等其他吾人の日常生活に必要なる諸品の化學工業の詳密なる解說を收む。

理學士 中村恒氏著
纖維素及其工藝
上卷金貳圓拾錢 下卷金貳圓四拾錢 郵稅各金拾八錢
製紙、セルロイド、人造絹絲等の化學工業は日進月歩の勢なるに拘らず其工業を攻ふる專門書少く、今日此缺を補ふべき纖維素工藝に關する最も信賴的確なる好著也。

東京市日本橋 大阪心齋橋 京都三條通 福岡上西町 仙臺國分町
丸善株式會社

十月十日より十四日まで五日間
（三階ニ於テ）
よせぎれ
見切物及
大賣出
越
京城本町
三越呉服店

商業登記
一株式會社（本店移轉）
一商號 日韓雲母株式會社、本店京畿道始興郡永登浦京町四百七拾九番地
目的 雲母ノ採取加工及賣買、設立年月日 明治四拾參年貳月貳拾日、資本ノ總額 金參拾萬圓、各株ノ金額金拾圓、[…]公告ヲ爲ス方法京城及京城ニ於テ發行スル新聞ニ揭載スルヲ以テ之ヲ爲ス、取締役氏名住所京畿道始興郡永登浦本町四拾四番地 臨富士見町三郎、[…]市麻布[…]賀田金三郎、京畿道始興郡永登浦本町參番地 佐渡秀光、仁川府[…]林里四拾九番地 原修一郎、監査役ノ氏名住所 京畿道始興郡永登浦京町四百七拾九番地 京城[…]三輪滿治郎、京畿道始興郡[…]宗近顧吉、北九州[…]山里[…]百貳拾番地 […]
存立ノ時期 滿貳拾箇年
右大正五年九月貳拾日本店ヲ京城旭町貳丁目百拾壹番戶ヨリ移轉シタリ
右大正五年拾月四日登記
京城地方法院 永登浦出張所

龍山各部隊下肥掃除
右希望ノ者ハ本月六日ヨリ十日ニ至ル執務時間中ニ當部ニ付照合アレ
朝鮮駐箚軍經理部

新刊圖書案內
書名	著者	定價
鬼の面	谷崎潤一郎	八五
徹底論	加藤咄堂	一〇〇
心靈の現象	高橋本吉	一三〇
經濟原論（上卷）	山崎覺次郎	一〇〇
日本氣候學	中川源三郎	二五〇
獨習自修英文法研究	大島陸吉	七五
近時の經濟問題	民友社	一三〇
禪窓閑話	菅原時保	九〇
不動產競賣手續便覽	[illegible]	一二〇
ツォードの社會學	[illegible]	一五〇
採證學	法律新聞社	二〇〇
模範小賣店の組織	佐々木十九	八〇
（縮刷）想榛	三宅雪嶺	一六〇
慈愛と友愛	海老名彈正	九〇
快心錄	横山健堂	一二〇
時は過ぎ行く	田山花袋	一二〇
植物の構造と生殖	石川光春	一〇〇
愛の奇蹟	三浦關造	八五

京城本町二 電話二一六六番 振替京城二四五四番
[illegible]堂書店

職工募集
仕上師、機關師 拾五名
旋盤師 三名
希望者は來所あれ試驗の上採用
京城鐵工所

古琴流 尺八樂譜解說
一部卅錢 郵稅二錢
琴古流 尺八樂譜
目錄希望者は要郵稅二錢
東京小石川極大和町 尺八教授 水野呂龍

明治公債株式會社 社員募集
京城黃金町 朝鮮支部
釜山幸町 朝鮮外事部
同 所 釜山出張所
太田榮町 太田出張所
群山曙町 群山出張所
淸津敷島町 淸津出張所
平壤本町 平壤出張所
元山仲町 元山出張所
大邱三笠町 大邱出張所
木浦大成洞 木浦派出所
咸興大和町 咸興派出所

◎支那鐵道借款復活
前契約を改訂す＝議會反對せん

米國二十萬弗鐵道借款は袁世凱氏在世當時米國側が帝政援助の爲め之れに應じたるものなるが其の後雲南事件發生すると同時に米支兩國間に於て協議纏り草案既に成り三回に分ちて前渡しを爲す段取りに迄進捗したるも袁氏長逝と共に立消えとなり其の儘と爲り居りしが近來に至り米國側より之れが實行を迫り來りたるより支那側にては遂に交通總長許世英氏とインターナショナル、コーポレーションとの援助を有するシ、エム、スコレーとの間に前草案に改訂を加へ九月三十日に調印せるが右は其の敷設すべき鐵道數箇所に亙り寧河、綏遠を始め廣東、福建等にも關係ある大範圍のものにて工事終了迄には米貨一億弗を要するより議會は之れに對し必ず反對をなすべき模樣なり(北京特電)

◎孟張兩督軍の陳謝

孟吉林將軍は朝陽坡、楊家城子、大楡樹、喇嘛溝、長嶺子等の日支兵衝突事件に關し天野領事を經て關東都督府に正式謝罪狀を寄せ尚ほ張奉天督軍は馬交涉使を我總領事館に派し同樣謝意を表し同時に楊參謀長、于交涉委員は謝罪使として五日領事館に來り都督官邸に於て中村都督以下文武官列席の前に於て謝罪文を都督に呈し更に陳謝の上引取りたり右に就き我出動軍隊は近く駐屯地に引揚ぐ可し(東京特電)

◎隈侯黨首推戴交涉
新政黨準備委員會の決議

新政黨準備委員會にては大隈首相にして骸骨を乞ひたる以上、侯は既に自由の地位に立ち戾りたる譯なれば此の際新政黨の總裁たらしめんとの議纏まり右交涉委員として安達、早速、高木(正年)の三氏六日午前八時早稻田に大隈侯を訪問し準備委員會の意見を開陳する所ありたり(東京特電)

◎鼎座會談
內閣組織に就て

平田東助子は六日午前九時山縣公を椿山莊に訪問し後藤內閣組織に關する打合を爲し退出後麻布笄町の寺內伯邸に至り居合せる後藤新平男と主人伯と三人鼎座約一時間餘會談し退出せり(東京特電)

◎ニコラス大公出陣

露國ニコラス大公は羅馬尼のドブルジャ州及びダニューブ河沿岸の戰線に於ける勃軍の攻勢に備ふる爲め同方面の總司令官として出陣すべしとの報あり(桑港電報)

◎英軍マセドニヤ占領

倫敦來電＝英軍は希臘領マセドニヤの一部を占領し勃軍に多大の損害を蒙らしめたり(紐育電報)

◎露軍攻勢
土軍擊破さる

露都來電＝露軍は再び土耳古領アルメニヤに於て攻勢を執り廣汎なる戰線に亙り盛んに土軍を擊破したり(紐育電報)

◎ゲ將軍と委員長

華盛頓來電＝大統領ウヰルソン氏はゲタルス將軍を鐵道就業者八時間就業法實施委員長に任命せり(紐育電報)

◎露貨の低落と地方經濟界

時局に因る露貨の低落が北鮮地方の經濟界に及ぼしたる影響に至つては輕視し難きものあり今其の主なるものに付當局の調查を聞くに

▲通過貿易減少 [illegible]

▲納稅上の障碍 [illegible]

▲購買力の減少 [illegible]

◎浦鹽の金融界

[illegible]

◎落花生の產額

[illegible]大正四年に於ては作付反別二百九十八町步收穫高七千四百九十四石にして前年に比し作付反別に於て六十一町步收穫高に於て一千百九十九石の增加を示し又大正五年に於ては作付反別三百五十八町八反步收穫高一萬二千八百六十九石の見込にして前年に比し作付反別に於て六十町八反步收穫高に於て五千三百七十五石の增加を示せり

◎明太漁期迫る

北鮮沿岸に於ては既に明太の漁撈期も切迫したる今日早くも其の準備に忙殺されつゝある漁撈すらあり、聞くところに依れば本年は潮流の關係上明太は至つて豐饒なるべく更に十月中に於て風波の起るあらんか一層の好成績に終るべしと豫想されつゝあるが一方漁民側に在りては本春珍らしき豐漁に逢着したる爲め資金は自ら潤澤なるに加へて元山及び咸興地方の內地人にして投資を企つるもの尠からざる模樣なれば漁船數の如きも前年に比し意外の增加を示すと共に本期明太漁業は近來稀有の盛況を呈するに至るべしと(元山)

全鮮製煙業者協定成立に就て(中)
外煙「トラスト」に對する防備成る
東亞煙草會社理事　馬詰次男氏談

▲價値の整理 は這度協定の[illegible]なるには相進なきも製煙者自重して以て向後は只管品質の[illegible]依て以て市况促進の武器[illegible]きを以て依然として消費者の營に出づべきは之を希望する次[illegible]せられんことを今後の[illegible]、一面各品種市况の變調は困難にして蓋し需用の緊縮上に要する失費のため向後然艱難の伴ふことは元より所なり。顧て去る大正三年煙草消費稅令を施行せられ一割の課稅を見るに至るや稅の原則に基き適宜價値の[illegible]行すべきは當然の本義なれ[illegible]縱離亂を極めたる當時の製[illegible]の瞎安き利害の提携さへも[illegible]部「スペクレーダー」の擒縱[illegible]顧みざりしため消費稅は玆て直接國稅と化し、爾來今迄約百數十萬圓を降らざる全部製煙業者の双肩に荷ふり。然るに煙草稅令實施後歐洲大戰亂の突發にありて經濟界にも深甚の好影響を與業の勃興となり風雲を捕捉枚擧に遑あらざる有樣なる歲一遇の機會に遭會しながら製煙事業は矢張り幸薄き運命所となりつゝあり、原料材料諸品の暴騰職工勞銀の引上等は累次生產費を向上せしむる一方にして、然かも價額は相互業者側によりて依然据置の外なかりしなり。尚ほ之を近く半島市場に於ける他重要商品との比較に見るも、一切の輸移入品は勿論牛皮、紙其他半島生產品と雖も其市價は戰前に比して數割乃至數十割の騰貴を示せるものとは殆んど同日の論に非ず更に

▲煙草の世界的市價を調査するに歐米諸國に於ては一包價格最低二十錢を限度として印度、波斯土耳古の如き諸國に在りても一包十五錢以下に降らずして然かも一包の容量十本入を普通とせり隣邦支那市場に在りても最も普通的に嗜用せらるゝ煙草の平均一包當價格は四、五錢の所を上下せり、之を半島市場に於て最大の需用を呼びつゝある弊社製品「ヘルメット」二十本入一包定價僅に二錢なるに比較する時は果して如何。此等の事實は半面に於て社會政策上多大なる注意研究に値すべき何物かを物語りつゝあるに非ざるか先年度支部岡田技師が歐米を巡遊せられたる際一煙草業者に對して、朝鮮に於ては一包價格二錢の兩切品ある旨を語りたるに、先方は之を事實と信せず、有り得べからざる理外のこととして笑殺し去りたりと謂へり

斯くの如く製煙業者の拂ひつゝある重大なる犧牲は一方に於て必然之を享益する僥倖者なかる可からず、朝鮮は實に愛煙家の樂園として全世界に周知せらるゝ亦故ありと謂つ可し

◎鮑の豐漁

江原道杆城郡縣內面大津里に於ける鮑罐詰製造は本年天候順調且潮流の關係上昨年に比し成績頗る良好にして總採取高一千三百九十一貫價格三千七百十五圓に達し海女一人平均六百三十貫價格百七十七圓に當り昨年に比し一人平均二百十貫の增收なりとす罐詰製造高は八十四打入九百五十餘箱價格一萬四百餘圓にして從業者一同は九月二十二日內地へ引揚げたりと因に昨年中の水揚高は千百貫にして價格三千三百圓に上り罐詰製造高は八千五百五十圓なりしと

◎京釜改良線開通期

京釜改良線若木より龜尾驛通過金泉間は既に橋臺も落し目下晝夜兼行に橋臺据付工事を急ぎつゝあり來る廿五日より列車運轉する豫定なり

◎新燈臺の點火

遞信局にて建設中なりし咸北富寧郡梨津井に栗島燈臺建設竣工せしを以て十月五日より點火せり

◎鮮內商議と會頭

新令により朝鮮各地の商業會議所は何れも設立の上役員の認可も略終りたるが目下の所未だ會頭以下の決定し居らざるは元山釜山のみなりと

◎浮塵子全滅

南北三三地方の稻に浮塵子の發生ありしも最近の氣溫低下により何れも全滅したる模樣なりと

◎模範井戶掘鑿

京畿道に於ては從來管內各面に模範井戶の掘鑿を計畫し特にヂストマ、マラリヤ、十二指腸虫病等の風土病を有する地方には最も其の必要緊急を要する關係上既に大正元年實行以來緩急に應じて七十面に八十六箇所の鑿井を爲したるが猶本年度に於て四十五箇所の鑿井を行ふ筈なりと鑿井は概ね一箇所百圓にして普通石疊、混土凝、木製等なるも平澤地方にて掘拔井戶二三の試驗的鑿井ありたるが孰れも水質白色泥濁し飲料水に不適當なるやの感あれども本年度更に二三の試掘を爲す筈なりと

◎水產學校認可

四日附群山公立農業學校附設群山公立簡易水產學校の附設を廢し群山公立簡易水產學校となすの件を認可されたり

◎判任見習試驗

總督府文官判任見習試驗は京城中學校に於て六日體格試驗を行ひ同八日午前九時より同校に於て筆記試驗を行ふ可し因に受驗者は百八十三名なりと

◎松井少佐案內

川村元帥元山平壤新義州方面の巡視案內は軍司令部松井參謀少佐之れをなす由

◎中村支配人歸浦

浦鹽松田銀行部支配人鮮銀司事中村光藏氏は過般來入京中の所六日出發歸任せり

◎橋本事務官視察

橋本遞信局事務官は南鮮地方遞信業務視察の爲め一兩日中出張すべしと

◎遠藤所長歸任

久しく東上中なりし遞信局郵便貯金管理所長遠藤達氏は兩三日前歸任せり

人事往來

▲工藤英一氏(平南道長官)　七日朝入京
▲秋元秀太郎氏(海軍中佐)　入京中の處六日夜退京
▲近藤宏太郎氏(住友顧員)　同上
▲津村井之助氏(鮮銀平壤支店長)　同上
▲西田清氏(日本興業銀行員)　同上

◎南言北語

日露の戰役は文明的戰爭として近世に於ける最大なるものであつた▲遼陽役では黑鳩公將軍の兵數が五萬五千我黑木軍が六七萬であつたが歐洲戰では此位の兵數はホンの一小部分に過ぎぬ▲奉天會戰では露軍が三十七萬に對し日本は二十五萬を動かした▲歐洲戰では英國が二百五十萬佛國が六百萬露國が一千萬獨逸が九百五十萬墺匈國が六百萬土耳其が二百萬勃牙利は人口僅に四百八十萬であるのに八十萬の兵を繰り出して居る▲戰線を見ると西部では日本の里數にして百七十里東部では二百七十里である▲其れから八月二十三日から九月五日迄の遼陽役で日本の損害は戰死五千負傷一萬八千露國が戰死二千負傷一萬四千であつた▲百日以上に亙るヴエルダン包圍戰では唯一回で、其れ以上の損害が幾度もあつた▲又たニウル、チヤペル戰でも僅々三日間に英軍の戰死二千五百負傷八千五百行方不明千九百と報せられて居る▲戰役に與へらるゝ影響の深淺が戰爭の規模の大小に由る者ならば▲世界の政治經濟のバランスが將來如何に狂ふか問題が餘り大き過ぎて島渡商が立ちにくい▲虎疫は寒むくなると漸次に終熄するなんて云ふて居る人があるが其れは恐るべき誤解である▲虎疫菌は寒氣に遭つたつて却々死なぬ其の證據には嚴寒の眞最中零度以下の寒氣の時盛に流行した例も少くない▲恐るべきは誤解である斯る事を思つて居るとすれば其の人は生命財產の安堵を希望せぬ人である▲豫防と防疫には益々注意を怠つてはならぬ速に虎疫を撲滅するのはお互の爲である

□附錄　本日再築落成號附錄四頁

◎本日　朝鮮總督府公文附錄　附添

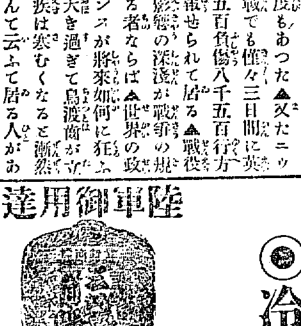
(一、四面欄外より續き)▲長崎大豆　七圓六十五錢にて四百叺計り出來たり [illegible]

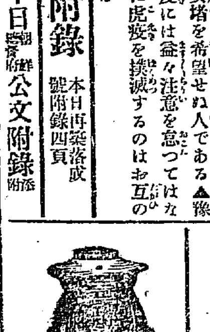
各國時計　自轉車　蓄音器
直輸入卸商　京城黃金町二丁目(電話一〇一五番)　喜多金光堂　振替口座七八二番

農業世界　十月號
仲小路廉氏の「戰時產業の大本」二村博士の「農村振興的副業」加賀下院議員の「本年の作柄と米價」を始め必讀の資料滿載
定價廿二錢郵稅二錢　東京本町　博文館

祝再築落成
京城南大門市場　食料品問屋　辻本商店
電略ツ　電話長七五番六四一　京城振替口座三十八番
惡疫流行の爲各罐詰一時に注文嵩み品切勝の處昨今續々入荷致居候間御注文願上候

メリヤスト毛布ハ
京城　丸一綿布　電話一〇九一番

陸軍御用達

◎冷卸發賣
醇塲發賣の清酒優良品賣出し(値段改正)仕候に付不相變御愛飲を奉願上候
京城蓬萊町電話一〇六七番
三巴酒造塲


和洋ストーブ一式　煙突製造　ストーブ据付　板硝子ペイント塗料
京城本町二丁目(電話四二三番)
岩見伊勢松商店

(明治四十一年八月十日 第三種郵便物認可)

秋日を浴びて ─奬忠壇公園にて─

◎雄叫ぶ嵐に孕まれて 船乗になるまで

商賣いろ〜草紙

[illegible]

◇機關と波濤

[illegible]

◇舵夫と水夫

[illegible]

◇脱兎の如く

[illegible]

◎九歳の少女 急變を報ず

[illegible]

▲該馬賊の手引 [illegible]

▲首領と覺しき [illegible]

▲賊の發見を避け [illegible]

▲家内の様子 [illegible]

◎玄海灘へ 連絡船投身女

[illegible] 突然甲板より海中へ投身 [illegible]

◎官印を僞造して大金を騙る 一年に亘つた豫審漸く決定

[illegible] 僞造し之を連帶借用人として櫻井町一丁目住富田某より二百十圓を借用名義にて騙取し尚其後舟橋町居住の姉の家に至り家人の不在中同家が朝鮮人より買取りたる

▲土地所有文券 を窃取し之を種に友次郎、庄作の兩名共謀し先右の文券記載の土地家屋に對し土地所有權に關する當該官廳の證明なければ効力なく從つて是を擔保に金を貸すものなきを以て本年三月中本町三丁目渡邊某、永樂町二丁目武田某本町四丁目南里光雄の三人の印章彫刻業者に依賴して京畿府尹、金谷充日附、番號、京城府廳財務係其他數個の官印を僞造し之れを使用して京城府廳の證明狀、敷地並に借用證番等の公文書、私文書を拵へ初音町居住の金貸業小松某より

▲額面二千八百圓 の借金を申込み前利子、手數料、火災保險料金、登記料等を差引き現金一千九百八十八圓四十錢の交付を受けて騙取を遂げ此大金を以て敵娼なるぽんた事森まき(二五)を落籍せんとしたる罪の發覺を虞れ内四百五十圓をぽんたの森まきに與へ將に高飛せんとする際發覺して本町署の手に檢擧せられ約一箇年間京城地方法院の豫審に於て取調中なりしが前記友次郎、庄作、まきの三名は何れも有罪と決定して同法院の公判に附せられたり

◎初霜と初雪

仁川觀測所の報に依れば忠淸南道論山京畿道長湍同議政府江原道鐵原全羅北道錦山の各地に四日初霜あり何れも昨年に比して九日早く又咸鏡北道茂山には二十七日降雪ありたるが昨年に比して二十二日早しと

◎女優になりたいと市十郎へ 心を込めた手紙─此方はきつぱりと強意見

[illegible]

▲手紙の文句 には『妾は元 [illegible]

の時、どうぞお弟子にして下され、役者になる事が出來なければ尼になります』といふ様な意味の思ひ入つた文句があつたので、流石の市十郎も持て餘し此の老耄の私をそれまでに慕うて弟子にして呉れとのお頼みは有難いが、まだ二十歳にも足らぬ

▲若い女の身 空で、役者になりたいとはわらい不心得、どうしても浮氣稼業がしたいのなら、東京へでも出て藝妓にでもなる事、中年者の役者生活に入りたいとは惡るい、今の内に諦らめて立派にお嫁に行く算段を爲さるやうにと會つて言ひ聞かして見ませうと言つてゐる

◎ヒトモア氏母堂

曾つて京城總領事として米國總領事館に駐在せし現横濱總領事ヒトモア氏の母堂は數日前脳貧血を打ちたるが原因にて臥蓐中の所五日夜病革まりて永眠せるが夫人は二三箇年間ヒトモア氏と共に京城に居住せし事あり享年九十三古稀の齢に達し居りしとは言へ惜むべし

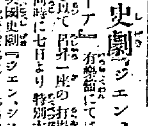
◎コレラ彙報

▲大田檢疫成績 虎疫發生以來大田驛にて檢疫せる數は隔離せるもの二回二十名檢疫を行ひしもの九月廿日より三十日に至る十日間六百餘名にて是れ等は皆當驛に下車せしものなれば警察署にては一週間注意をなし經過と同時に注意書の削除をなしつゝあり尙警察にては檢病的戶口調査を行ひたるに流行性を帶びたる患者と認むべきもの一もなく實に理想的健康地として誇るに足ると語り居れり(大田支局)

▲平壤檢病調査 (平壤警察署)にては南鮮地方の虎疫漸次西鮮に移入し來らんとする傾向あるを以て之れが豫防に付ては常に深き注意を拂ひ警戒を怠らざるが過日來より管内一般に渉り一日平均一千五百戶餘りの檢病的戶口調査を斷行中なるが幸にも未だ疑はしき患者を發見せずと云ふ(平壤支局)

◎煙草値上と小賣店に注意

全朝鮮煙草製造業者聯合會協議により本月五日以後新定價を以て販賣し得るものは包袋に印影を押捺しあるもの及び新定價を印刷しあるものに限り舊定價のものは舊定價にあらざれば販賣するを得ず若し小賣商店にして舊定價品に印影なく新定價に販賣し又は小賣定價を任意に打直したる者は重く處分せらるゝのみならず永く舊定價品を所持するは其筋の取締上不便不尠らずに付小賣店にては速かに賣拂ふか若くば定價打直しの手續を各取引特約店に詳知せられたしと



▲史劇『ジエン、シヨーア』 有樂館にては六日を以て呂昇一座の打揚げと同時に七日より特別大興行として東洋權利附の英國史劇『ジエン、シヨーア』全五卷七千五百呎の長尺物を上演すべく同劇は英、佛、獨、伊、白の五ヶ國に於て大々的の榮を賜はりしものにして大英國の外史傳なり然して同寫眞には俳優八千三百五十名馬匹一千三百頭の外種々の古代武具多數を使用せしものにて同時に上場せらるべき松之助一座の舊劇と共に觀物なるべし

▲呂昇は釜山へ 六日を以て有樂館を打上げ七日夜行にて釜山に乘込み同地にて三日間興行の豫定なりと

▲壽座 市川市十郎の明智光秀と勢左右衛門の茶日局が何れも嵌り役の事とて好評を博し居れり

▲黄金館 琵琶劇少年東夫、活劇でルソウ城、藝劇鍋島猫騷動

社告

北川青岳

右は京城日報社員と稱して名刺を携へ市中を徘徊致居候由なるも本社とは何等關係無く候間此段謹告致候也

京城日報社

巡査看守受驗豫備通學生校外生募集 短期速成及第確實 照會要郵券 大阪本田常盤橋停留所西二丁 弘道學校

產婦人科 本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 診察午後 分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察午前 中央婦人病院 院主 衣笠茂

正氣堂名刺舖 期日正確送料無料 京城本町二 電話二一九五番 振替京城一二八三番

京日案內 普通 一回前金 三十錢 番外 一回前金 六十錢 ▼市內後中途掲載中止の節は料金返戻せず

◎店員年齡廿歲前後身體強健者得意廻りに經驗ある者午前中來談あれ 龍山榮町 宇田屋吳服店 京染店 462

◎店員入用 廿歲以下三名入用 志望者至急申出べし但保證人を要す 京城吉野町 岩城商店 476

◎有給外交員數名採用す 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 町一二二 中央金物新報 朝鮮支社 477

◎見習看護婦入用 京城本町一丁目 藤本耳鼻咽喉科醫院 474

◎店員入用 青葉町二丁目百廿番地 大三郎 473

▽古本大口注文品拂底際此是非高價買受 本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 427

◎滿洲酒賣出し 賣子三名入用 龍山元町一丁目 電話百五十四番 畠山酒造場 443

古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

◎貸家 日本建溫突付三室五圓半 三坂通官吏向の別莊的 管理者 舊龍山印刷局先 畑中 296

古本なら野村 買入誠實 明治町筋 野村書店 電二六三 431

◎古本熱心高價買入 ◎是非御試賣を乞 ◎電話二七八一番 △御報參上 △本町四 △書肆 群書堂 437

◎金融 月收の御方へ信用貸 御報伺上候 京城大和町三不老湯前横丁下る 起木屋 457

▲繩叺莚荷造用品販賣 京城岡崎町 渡邊商店 電話一四五三 振替京城八二〇 471

質 よろづや質店 京城太平通一丁目 京城日報社右横 472

下宿譲る 下宿業今回歸國に付居抜きの儘 市内便宜の場所にある有望なる 大至急譲渡したし (姓名在社) 463

京城春川間自働車 京城春川間毎日午前八時出發 貸金片道四圓 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車 主務 金正淵 428

轉居 南山町二丁目廿六番地 日鮮信託社 電話長二一六二番 鑛業及信託業務を専念御取扱可仕候間御用命の程奉希上候 478

▲最早ストーブの時期が參りました 早くメッキ修繕に御送りください 京城明治町一 電話二七一 江草電鍍工場 242

◎算筆簿記の心得あるもの夜間職を求む 保證人あり (姓名在社) 465

醇良無双清酒

無害衛生 品質無双

首藤合名會社吟造

精白米卸小賣 キリンビール サッポロビール 醤油と龜甲萬 各種 シトロン 三矢サイダー 引布 各種

朝鮮發賣元 首藤京城支店 黄金町(電話一一七一番)

大學目藥(だいがくめぐすり)

登錄商標

內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり

定價金十錢廿錢(郵税二錢)三十錢(郵税四錢)大瓶五十錢(郵税八錢)●各地賣藥店に在り ●はやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其外眼病一切に驚くべき効能あり 大學目藥は帝國醫科大學醫院の處方に基き貴重の製劑にして ●十歳以下の小兒の爲別に小兒用大學目藥あり

大阪北濱壱丁目 參天堂藥房

內科 小兒科 村上病院 京城永樂町一丁目(品商陳列館前) 電話六一三番 院長 醫學士 村上龍藏 副院長 熊本醫學士 松下三雄

懐中要藥 清心丹

主治効能(醫師証明可認) 腸カタル、胃カタル、消化不良、過食、船車酒魚肉の醉、腦貧血、日射病、精神疲勞、咽頭カタル、氣管支カタル、口臭、口熱、齒痛、其他咽喉諸濕、口中清凉、精神爽快、消化器病豫防等の目的

説明 下痢、赤痢、胸腹痛、溜飲、宿食、惡心、嘔吐、頭痛、眩暈、船車酒の醉、中暑、氣疲、痰咳、口臭、口熱、齒痛を治し、咽を潤し、口中を清凉にし、氣分を爽快ならしめ食後少々に服すれば消化を助け胃腸病を豫防す

定價 [illegible]

本舖 東京市日本橋區元大坂町 高木與兵衞

日韓書房 新版報告

千伊之吉著 成金物語 定價一圓十錢 送料七錢

小栗風葉著 青春 定價一圓五十錢 送料十二錢

三宅雪嶺著 改訂縮刷 想痕 定價九十五錢 送料十二錢

長田幹彦作 紅夢集 定價一圓六十錢 送料十二錢

谷崎潤一郎著 刺青 定價九十五錢 送料十錢

京城本町二丁目 振替口座 [illegible] 電話 [illegible]

十月八日 九星 舊九月十二日 戊寅 本命 一白 北取 女引

◎纛島の警戒 五日鮮人一名虎疫にて病死せるに就き [illegible] 水道水を給與して井戸を閉鎖し河岸一帶に柵を繞ひて河中に入るを禁じ以て水源地の安全を確保せり

女鳩

渡邊默禪

【二二四】惡魔主義

餘りにその態度が憎々しいので、大野は激し易い青年の血潮の渦を沈め切れず、いきなり拳を固めて毆り仆さうとしたが、いつものに異らぬ優しい目つきをして、凝と二人の樣子を瞻つてゐる鳩子の顏を見ると、忽ちその平和な氣高い光に打たれたかのやう、頓かに手を停めてたゆた

つた。

『馬鹿々々しくなつて、誰のことを言うんだよ。お前も餘程お目出てえ人間だな。一體自分の利巧と他人の馬鹿とをつもつて見る尺度は何處にあるんだ。おい。そんな青い理窟ぢや尺度にはならねえぜ。まア考ねて見な。大きな面をして俺くらゐ利巧な者はないと威張りくさつてる奴に限つて、ろくな者はねえぢやねえか。金持だの學者だの政治家だの、そんな者は何だ。みんな蔭に廻つてこそ〳〵惡い事を爲ちやア、人前だけヨーク〳〵ット（絹帽）をおやかして紳士でござい と澄ましてやがるぢやねえか。惡いことをする俺が馬鹿ならそんな手合は俺に泥をかけた大馬鹿者だ。ま

だ俺の方はおつかなびつくりに惡いことを爲るんでねえだけ、罪が輕いんだ。お利巧さまなんだ

『おい、汝。良心といふものを知つてるか』。

『それを知らないやうな者なら眞個の馬鹿か瘋癲だ。俺の親父は源作で阿母がお辰よ』。

『その兩親ぢやない。人間には善惡を差別する生れつきの本性がある。

それを良心といふのだ』。

『あゝ爾うか。體にもつて生れたものだから兩親、成程物は理詰だ』。

『汝はその良心があつても光が晦んでゐるのだ。立派な名譽を持つた奴が惡いことをする、それは汝と同じやうにその良心が濁つてゐるからだ。そんなのは見掛倒しの僞善者で風上に置けない貨物だ。そんな惡い奴と

比較して悦んでゐる、そこが馬鹿の本性だといふのだ。何故善い人と自分をくらべて考へて見ない。何故善い人の眞似をしない』。

『お言葉中ですがね。坊ちやん。世間にやア善い人といふのが有るんですかい。假令は有つたにしたところで、どれだけの美いことを爲てゐますね。爲たとがどれだけ世の中の利益になつてゐるか。ちよつとそれを承はりてゑもんだ。俺の考ぢや、まあ見渡したところ、今の社會にやア、そんな善い人なんてゑ動物は只の一疋もけつからねえやうに思うんだ。どいつもこいつも食せ者のいかさま野郎ばかりで、てんで鼻持がならねえぢやねえか。良心だなんて勿體らしく講釋をするけれど、その良心が何になる、こんな寒い時に懷爐の代りにでもなつたら調法だが、先づこちとら樣にやあ入用のねえホヤの破れか紙屑だ。惡い奴の巾が利いて、惡いことがさかつてる時分なら、やつぱり惡いことをして惡い奴になつて、流行に連れてゆくのがお利巧さまなんぢやねえか。ね、坊ちやん。雨うだらう。お前なんざア未だ齡が若えんだもの、是からが花だ。ドン〳〵惡い事を覺えて早く出世をするさ。惜いことにはまだ其方の教育が足りねや』。

さんざんに飜弄されて大野はもうぶる〳〵と身戰ひするだけ、言ふ所を失つて了つた。と、微笑して聞いてゐた鳩子は美しい瞳を星の如にそよがせながら

『隨分面白いことをいふのね。惡魔主義よ、この人は』。

大野の方を顧みて

『高等教育のある智識階級でもよくこんな哲理じみたことを言つて、得意になつてる人があるぢやありませんか。だけども惡い思想ね。淺い考へよ』。

『なアに、そんな自覺を持つて言ふのぢやないですよ、此奴のは……やけになつての出鱈目です。實に度し難い馬鹿者ですなア』。

大野はこんなことを言つて僅かに自ら慰めた。と、鳩子は柔かな手を源太の肩にかけて其顏を覗くやうにしながら

『ちよいさ、お前。過日の晩、私しの言つたことを覺ねてゐて』。

皮膚科
皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元旭町）
佐藤醫院（電話一一七三番）

京城本町一丁目
醫學士 杉本砂一
杉本耳鼻咽喉科醫院
電話一二三〇番

銃の修理は多年の經驗と獨特設備とを有する
龍山元町二丁目
玉井砲銃工場

電話新設
一八五二番を新設致しました故お掛け下されば不拘多少配達致します
平壤名産玄武栗元祖
玄武堂

讀者の領分

▲湯錢の不廉を攻めたる諸君が牛肉屋の昨日の不當なる商賣振りを攻めないのは不思議だ市民が虎疫の襲撃に對して警戒し魚の代りに牛肉を喰べてる隙を付け込んで不良肉の商賣りをするとは實に市民の敵ではないか（一市民）▲私の近所の官吏の妻君は朝から晩の十時頃迄コロリン〳〵琴を彈き詰に彈きまして八釜敷て仕樣がありませんちとたしなむ樣に願ひます（渡片洞住人）▲貴社主催の菊花品評會本年は屆一層の大々會開催あらん事希望す（龍山愛花總代）▲何々募集すと書いてあるのをよく見る事があるこれ等は勿論募集の目的ではあらうが其れには經驗の有無て事を必らず附記して貰はないと當事者は大迷惑をする樣な事が往々ある只『何な募集來談あれ』とのみ掲げてあつて遠路より足を運ばせ行つて面談して見ると經驗あるものでなければ採用しないと斯んなに直ぐはねつけられる始末其れならばさうと何故『經驗あるもの』と言ふ事を附記して置かないだらう餘り之れ等は勝手過ぎはしまひかソザ〳〵遠路より足を運ばせる必要もなからうではないか（吐露生）

新刊紹介

▲フヰスヒー（十月號）五錢東京府下澁谷摩耶部澁谷其社
▲露業新報（十月號）十八錢東京日本橋區福島町一四其社
▲産業及び勞働（十月號）十二錢東京府下多摩郡五日市町二二三其社
▲黑光（九月倍大號）二十五錢東京市外代々木中山谷二八九其社
▲戰友（十月號）七錢東京麴町區飯田町二ノ五二帝國在鄕軍人會本部
▲習字と作文（十月號）五錢東京市外駒場町一六九八其社
▲茶業界（十月號）十錢靜岡市追手町二二九の一一靜岡茶業組合聯合會議所
▲日本養雞雜誌（十月號）八錢名古屋市東區長塀町三の五其社
▲海紅（十月號）二十四錢東京市下谷區上根岸七四其社
▲宗教（九月號）五錢京都烏丸通七條上る大谷派本願寺寺務所内
▲警察新聞（三百八十一號）五錢東京芝區愛宕二の一四其社
▲農業世界（十月號）仲小路氏の『戰時食料の産業に通する大本』加賀代議士の『本年の作柄より見し米價』三村林學博士の『農業振興的副業』等必讀の文字（二十二錢東京日本橋區本町三博文館）
▲婦人畫報（秋期特別衣食住問題號）普通號の倍大にて畫報には秋裝の衣裝麗しき花め口繪物には三十餘題に亘り衣食住に關する諸名家の適切なる意見あり長篇小說『お夏文代』は菊地幽芳近來の大作其他田村俊子の『姑の家』德田秋聲の『最後まで』など面白し（五十錢東京京橋區弓町一東京社）
▲學生（讀書號）大町桂月『我が國』故上村大將の『明治大帝を守護し奉つた記』芳賀文學博士の『外遊閑話布哇だより』英文『疲勞と睡眠』等（二十錢東京神田裏神保町富山房）
▲新日本（新日本膨脹號）大隈侯の『文化的膨脹論』諸大家の『海外發展の根本問題』遠藤博士の『不知火論』等（三十錢東京神田裏神保町富山房）
▲ニコ〳〵（十月號）新しい諸名家のニコ〳〵振りと面白き記事を滿載し何時も乍ら愉快な雜誌なり（二十錢東京麴町區有樂町三の三ニコ〳〵倶樂部）
▲●●●立太子のお話（大日本家庭教育會編）立太子の御儀に就て兒童の爲めに極平易に敍述せり前に末尾に東宮殿下の御日常の御生活に就て詳述せり兒童の爲め立太子の御盛典を記念する爲め一部を備ふる必要あり（金五錢東京下谷區茅町三大日本家庭教育會出版部）

流經新藥レスノリン
月經流經
發賣元 常盤藥房

こゑる藥
身體やせて種々療養効方無き人は一度服用の事
◎東京市麻布區三河臺町

十二指腸蟲病
大邱府東城町 水田藥院
電話四六三番

金鈴香油
初秋に髪毛の拔ける方は
本舖大阪

鹽 龍山製鹽所

出版書籍案内
家庭醫學 名將之戰略 露國研究 西洋上古史 日本債權法總論 朝鮮行政法規大全 日本刑法 九種傳染病豫防 宗教と人生 禪窓閑話 一喝 徹底論 英文法研究 新譯イソップ物語 常磐津集
京城本町 大阪屋號書店 電話六八四二〇八番

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候
株式會社 百三十銀行 京城支店

攝津灘
大塚釀造所吟製
京城本町二丁目
發賣元 前田酒店

最上醤油
絶對的品質本位
醬油釀造界唯一の名譽
於始政五年共進會 金牌受領
特許 ほまれ味噌
釀造元 仁川港 日本醤油株式會社
京城出張所

消化と毒消しに
仁丹
今のも仁丹
値打千兩
金言 滿一に滿遂に充滿 中足へ 便 益

ヘルニア患者に服用者に
▲速かに次亞燐服用して抵抗力を強め
無し
惡疫を最も確かに豫防せよ
本舖 大阪道修町 小西久兵衞

尼崎汽船仁川出帆

○君が代丸 十月三日後四時大阪直行
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 十月七日後四時出帆
○神代丸 十月十三日後四時出帆
○秀吉丸 十月十八日後四時出帆
仁川海岸通 杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所屬航路遠洋航路を除く聯絡乘船の時は五分引を以て聯絡切符發賣仕候
群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
天智丸 十月十日
東安丸 十月十四日 後五時出
天智丸 十月七日
木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
信濃川丸 十月二十日
信濃川丸 十月七日 後二時出
群山、釜山、横濱行
福州丸 十月十九日
潮州丸 十月廿一日 後二時出
南浦、關門、神戸、大阪行
濟州丸 十月十二日 後二時出
鎭南浦、大連行
信濃川丸 十月十五日
信濃川丸 十一月二日 後二時出
大連直行
福州丸 十月廿八日
潮州丸 十月十七日 正午出帆
鎭南浦行
薩摩丸 十月十六日 正午出帆
濟津、浦潮行（元山出帆）
印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸 十月廿六日
宮島丸 十月十二日 後二時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸 十月廿六日 後四時出
湖北丸 十月十五日 前六時出
御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車聯絡切符發賣仕候 ●御乘船客は二時間前御出頭の事 ×印は日本船 △印は船客御斷り
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所 内國通運會社支店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 十月九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町十二番地 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

京城南大門通 松原運送店
○全羅丸 十月九日
○京畿丸 十月十八日
○黄海丸 十月廿日
○成鏡丸 十月三十日 釜山發
門司より釜山各港寄港雄基間航路
○鏡城丸 十月十日
○昌平丸 十月八日
○鏡城丸 十月十四日 元山發
元山より各港經由雄基行
○忠淸丸 十月二十日
○平壤丸 十月十二日 元山發
城津清津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
○永興丸 毎月廿八回 元山發
北久味、五里浦行
○江陵丸 十月 日 釜山發
甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行
○江陵丸 毎日 釜山發
○寶陽丸 毎日 浦項發
長生浦方魚津寄港
○三浦丸 十月 日 釜山發
長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發
○巨濟丸 ○慶濟丸（三日目一回水浦行）
各港經由麗水行
○順天丸 三日目毎ニ 木浦發
各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
○慶興丸 十月九日 木浦發
各港經由濟州島行西廻
○慶興丸 十月十二日 木浦發
南多島海列島行（月三回）
○公州丸 十月七日 木浦發
各港經由濟州島行（東廻）
○宗信丸 十月十日 仁川發
海州他各港經由、德洞又は白翎島行
○江原丸 十月七日 仁川發
南島、大連、芝罘行
○麗水丸 十月十二日
○晉州丸 十月七日 仁川發
各港經由木浦行
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發
江華島、喬桐島、海州行

汽船釜山出帆廣告

大阪行 月 日後五時出帆
浦鹽行 月 日後十時出帆
浦鹽行 月 日後十時出帆
新浦、城津、清津行 月 日後六時出帆
神戸、大阪行 月 日後六時出帆
原、壹岐、博多行 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山埋立新町 大池回漕部

共同汽船仁川出帆

朝鮮總督府命令船
大連行 十月十八日後四時入港 十月十日正午出帆
同汽船株式會社
代理店 野口商會
仁川代理店 堀口回漕部
京城支店 河村運送店

商況
大阪株式電
大阪三品特電
下關期米特電